



2023年3月24日

各位

会社名 ユニチカ株式会社
代表者名 代表取締役社長 上埜 修司
(コード番号 3103 東証プライム)
問合せ先 経営企画部長 森田 誠宏
(TEL 06-6281-5695)

シンジケートローン（「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」）契約の締結による
資金の借入（借換え及び新規借入）のお知らせ

当社は、シンジケートローンによる資金の借入（借換え及び新規借入）をおこないますので、お知らせいたします。

なお、本借入につきましては「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」として契約を締結しております。

記

1. シンジケートローンによる資金の借入（借換え及び新規借入）

当社は、株式会社三菱UFJ銀行をアレンジャー兼エージェントとしたシンジケートローン契約を締結しました。

(1) 本件の目的

当社は、借入日 2020年3月31日付の借入総額 919億7800万円のシンジケートローン（2020年3月27日公表）の返済期日到来にともなう借換えとして、シンジケートローンを組成いたしました。また、新たに設備投資資金として、シンジケートローンを組成いたしました。

(2) シンジケートローンの概要

(借換え)

(1) 組成金額	841億4800万円
(2) 契約日	2023年3月24日
(3) 借入実行日	2023年3月31日
(4) 最終返済期日	2026年3月31日
(5) アレンジャー兼エージェント	株式会社三菱UFJ銀行
(6) コ・アレンジャー	株式会社みずほ銀行
(7) 参加金融機関	株式会社三菱UFJ銀行、株式会社みずほ銀行 ほか、計 28 金融機関

(新規借入)

(1) 組成金額	69 億円
(2) 契約日	2023 年 3 月 24 日
(3) 最終返済期日	2026 年 3 月 31 日
(4) アレンジャー兼エージェント	株式会社三菱UFJ銀行
(5) コ・アレンジャー	株式会社みずほ銀行
(6) 参加金融機関	株式会社三菱UFJ銀行、株式会社みずほ銀行 ほか、計 5 金融機関












2. 「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の概要

「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」は、「持続可能な開発の 3 つの側面（経済、環境、社会）のいずれかにおいて潜在的なマイナスの影響が適切に特定・緩和され、なおかつ少なくともそれらの一つの面でプラスの貢献をもたらす」ことを企図するファイナンスであり、借入先企業の事業活動が環境、社会、経済にもたらすインパクト（ポジティブな影響とネガティブな影響）を包括的に評価・モニタリングし、借入先企業の ESG 経営を金融面から支援するものです。

本「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」のインパクト評価は、株式会社三菱UFJ銀行が三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社と共同で策定した「ポジティブ・インパクト・ファイナンス フレームワーク」に基づいております。フレームワークには評価にあたっての基準や体制等が規定されており、株式会社日本格付研究所より、国連環境計画金融イニシアティブによる「ポジティブ・インパクト金融原則」に適合している旨の第三者評価を取得しております。

当社は、サステナビリティの推進にあたり、「サステナビリティ方針」を定め、「ユニチカグループは事業活動を通じて暮らしと技術を結び、サステナブルな社会の実現に貢献していきます。」という方針のもと、事業活動を通じて環境・社会課題の解決に取り組み、企業価値の向上と持続可能な社会の実現を企図しています。

特定されたポジティブ・インパクトの創出を維持し、ネガティブ・インパクトの抑制を図るため、当社による今後の取組内容及び設定した目標は以下のとおりです。

取組内容	目標（モニタリング項目）	関連する SDGs
3 つの暮らしに貢献する素材の売上高増加 ・安全で安心な暮らしの実現 ・便利で快適な暮らしの実現 ・環境と共生する暮らしの実現	・2030 年度 2019 年度比売上高 2.6 倍 (2019 年度を 1 とする比率)	          

取組内容	目標（モニタリング項目）	関連する SDGs
ダイバーシティの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・2030 年度 女性管理職比率（海外を含む全グループ）：20% ・2030 年度 本社新卒採用（総合職）女性比率（ユニチカ株）：30% 	
従業員に対する育児・介護支援	<ul style="list-style-type: none"> ・2030 年度 男性育休取得比率：50%（ユニチカ株及び一部グループ会社*を対象） *日本エステル株、ユニチカトレーディング株、ユニチカテキスタイル株、ユニチカグラスファイバー株、ユニチカガーマンテック株 	
サプライチェーンマネジメントの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・2030 年度 CSR 調達アンケート回答率（主要取引先）：80% 	
製品・サービスの生産時における GHG の排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・2030 年度 Scope1、Scope2 排出量 2013 年度比 46%削減 	
製品・サービスの生産時における廃棄物の発生量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・2030 年度 産業廃棄物場外処理量：6,621t（2019 年度比 10%削減） 	
強制・児童労働の発生抑制（人権関連教育の実施推進）	<ul style="list-style-type: none"> ・2030 年度 人権関連教育の実施率（海外を含む全グループ）：20%（毎年 20%（以上）の従業員を対象に教育を実施、5 年で全グループ一巡） 	
従業員の労働安全衛生推進（休業災害の抑制）	<ul style="list-style-type: none"> ・2030 年度 休業災害発生件数：0 件 	
従業員の健康への影響抑制	<ul style="list-style-type: none"> ・2030 年度健康経営優良法人認定（ユニチカ株及び一部グループ会社*）：①認定取得 ②ホワイト 500 *日本エステル株、ユニチカトレーディング株、ユニチカテキスタイル株、ユニチカグラスファイバー株、ユニチカガーマンテック株 	

以上